

株式会社湯の児 海と夕やけ

熊本県水俣市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

熊本県南地域の新たな観光拠点づくりに 地域一体となって取り組んでいる

当館は、不知火海を望む熊本県と鹿児島県との県境に位置する湯の児温泉で
永年の経営に幕を閉じた老舗旅館の後継を待ち望んだ地域の願いを叶えるべく
地域再生事業として地元スタッフ中心で2011年に開業。

不知火海と夕日の景観から生まれる「海の劇場」の中でお客様お一人お一人が気兼ねなく、自分らしく過ごしていただけることを一番のおもてなしと心がけ、
スタッフ全員が最高のパフォーマンスを発揮している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 熊本県水俣市大迫1213 | ● 設立 | 2011年 |
| ● 電話/FAX | 0966-62-6262/0966-62-6263 | ● 資本金 | 4,000万円 |
| ● URL | http://umitoyuyake.com/ | ● 従業員数 | 70人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 田尻 泰比古 | | |



需要獲得

サービス

地域資源を活かした取り組みによる観光交流人口の拡大

自然豊かなロケーションや地域素材を最大限に活かした情報発信を行い、顧客満足向上を持続的に行うことで収益拡大につなげるモデルを構築している。

また、ダイビングやSUP等のマリナクティビティ、第三セクターの肥薩おれんじ鉄道、地元の漁師市やしらぬい海道等の水俣ならではの特色を活かした着地型観光を提供することで観光交流人口の増加に積極的に取り組んでいる。



全日本SUP選手権を湯の児へ誘致する会が発足

豊かな地元食材の積極的な活用と新たな観光エリアで新規顧客創出

新規顧客創出を図るため、地域独自性の高い地産地消メニューの開拓としらぬい海道周遊ルートエリアの市町村との連携強化を密にし、新たな着地型観光商品提供によりお客様の需要拡大を図る。

併せて地域内滞在時間延長により観光消費額増に直結した地域経済活性化を行っている。

さらに、熊本空港及び鹿児島空港直行便を有効活用し香港・台湾・タイの現地旅行会社へ直接営業を行い、地域エリアへのインバウンド誘致を促進している。



地元食材を活用した夕食和洋バイキング（一例）

地域の雇用創出及び地元企業とのネットワーク強化

事業発展には地域密着や地元産業活性化が必要不可欠であるという強い信念のもと、地元スタッフ雇用によるおもてなしを第一としており、創業以来地元からの積極採用を行い雇用創出に取り組んでいる。

また、ホテルで提供する食材の8割近くを地元取引先による仕入れを行うことで、地元企業との強固なネットワークを構築している。



豊かな自然に囲まれた「湯の児 海と夕やけ」